

公益社団法人日本技術士会 埼玉県支部 CPD 委員会活動報告

「東洋大学理工学部都市環境デザイン学科 技術士制度説明会」

報告日：2026年6月2日

1. 活動テーマ：東洋大学理工学部都市環境デザイン学科3年生への技術士制度説明会
2. 開催日時：2026年5月26日（月）14:45～16:15
3. 開催場所：東洋大学川越キャンパス1号館1201講義室
（〒350-8585 川越市鯨井2100 TEL：049-239-1300）
4. 参加者（人数）：都市環境デザイン学科3年生 64名
理工学部都市環境デザイン学科教授 鈴木崇伸氏（講座教員）
（公社）日本技術士会埼玉県支部 白岩信裕、横山正巳 計67名
5. 配布資料
 - ①レジュメ「Go to Professional Engineer ～技術士制度及び技術士試験の概要～」
（埼玉県支部2026年5月25日版）、事前提出、参加者に配布
 - ②パンフレット「技術士試験 受験のすすめ」（公益社団法人日本技術士会 令和7年3月版）
6. 実施記録
 6. 1 説明会の進め方の確認 14:30～14:40
 - ①説明会開催前に研究室（2号館2441室）を訪問し、鈴木教授と説明会の進め方について話し合った。
 - ②後日、鈴木教授へ配布資料のPDFデータを送付する。
 6. 2 技術士制度説明会
 - (1) 鈴木教授による開会挨拶 14:45～14:50
建設分野における専門家として必要な保有資格に、建築士や技術士資格がある。学生が、就職試験の際、資格の取得（一次試験合格）は高く評価される。学生は来月技術士一次試験申し込みにより、11月に受験できるため、今回、日本技術士会埼玉県支部に技術士制度の説明を要請した。この機会を活かし学生の内に受験して欲しい。合格すると大学より合格報奨金（受験費用の充当できる）を受け取ることができる。
 - (2) 技術士制度の説明と質疑応答 14:50～16:15
埼玉県支部 CPD 委員会委員 白岩信裕（化学/総合技術監理）
 - 1) レジュメに基づき、技術士資格保有のメリット、技術士制度の説明、試験制度（主に一次試験の内容）の説明、受験者層の説明と勉強法について話され、一次試験合格後の修習技術者時代の実務経験が「技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）」確保の上で重要との説明がなされた。また、一次試験の受験申込方法の説明も行われ、最後に日本技術士会埼玉県支部作成の動画を放映し、技術士の社会で活躍する姿が紹介された。（～15:55）
 - 2) 次に学生に対し、鈴木教授より技術士会HP掲載の技術士試験一次試験過去間を見ての感想が求められ、多くの感想が提出された。（～16:00）
 - 3) また説明に対しオンラインによる質問が多数（64問）あり、鈴木教授及び説明講師から回答がなされた。
 - 4) 最後に鈴木教授より、技術士一次試験受験が就職時の優位性及び合格することにより給料UPつながることを説明された。
 - (3) 閉会
閉会に際し、鈴木教授から参加学生に対し、説明会に対するアンケートへの回答が要請された。
 6. 3 アンケート回答結果

(1) アンケートの内容

- 1) 技術士になろうと思いますか ○はい ○いいえ
- 2) 在学中に受験する予定ですか ○はい ○いいえ
- 3) 技術士1次試験の問題を見た感想を書いてください 自由回答
- 4) 今日の説明会の感想を書いてください 自由回答

(2) アンケート結果の回答

鈴木教授より、参加学生の説明会に対するアンケート結果が数日後報告された。

それによると取得の意義を問うアンケート内容1)、2)に対し「はい」の回答が9割を超え、① 技術士について知ることができ、学生のうちに取得したい。② 技術士になるための行程がよくわかった。③ 今の努力が将来につながると認識した。④ 資格取得が将来に有利であるとは理解していたが、取得によるメリットがわかりやすかった。⑤ 建設コンサルタントにおける技術士の重要性が大きいと理解した。等であり、建設部門を受験する学生の意識の高さが伺える結果になった。

また、アンケート内容3)、4)に対し、① 大学の講義内容で受けた内容と同じである。② 過去の重要性、有効性が理解できた。③ 近年の建設業界で重視されている防災・維持管理・環境配慮に関する内容も踏まれていると感じた。④ 技術士は社会的責任も大きいと感じました。⑤ 技術士は、コミュニケーション能力及び倫理観も求められることが印象的であった。等でした。

以上がアンケートの回答結果をまとめた内容です。



写真1：質問に答える鈴木教授

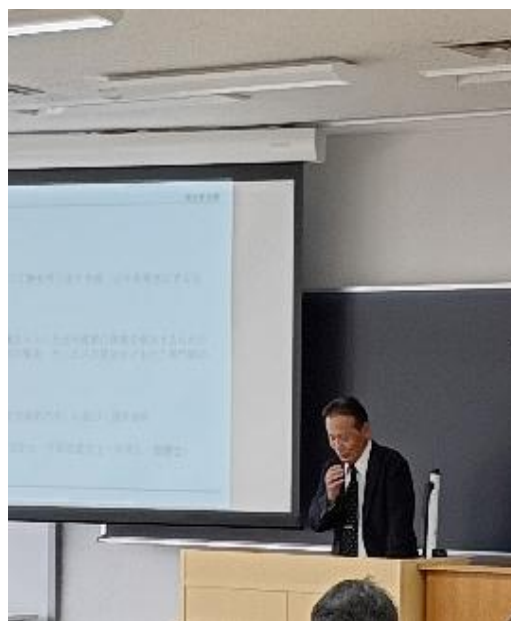


写真2：講師の説明

以上

(記録：CPD委員会 横山正巳)